

- 問1 町の中に設置されている「消火栓」は、どのような目的で道路沿いなどに作られているのでしょうか。
- 問2 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といいますか。
- 問3 多くの地域では、もしもの火災にそなえて「防火水そう」が設置されています。どうして、ただの水道管だけでなく防火水そうが必要なのでしょう。
- 問4 家が火事になったり、急に具合が悪くなって救急車を呼びたいときは、何番に電話をかければよいでしょうか。
- 問5 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。
- 問6 台風や地震などの災害が起きたとき、警察官の最も大切な仕事の一つは何ですか。
- 問7 作成した「安全マップ」を完成させたあと、地域全体の防犯のために最も大切なことは何ですか。
- 問8 火災が起きたとき、消防車が消火活動に使う水を「水道管」から取り出すための設備を何といいますか。
- 問9 警察官が、町の中を歩いたり車でまわったりして、事件が起きないように見守る活動のことを何といいますか。
- 問10 建物に火災報知設備が設置されている一番の目的は何ですか。
- 問11 警察官が、お年寄りの家などを直接たずねて、犯罪や事故にあわないように気をつけることを伝える活動を何といいますか。
- 問12 火災や災害が起きたときに、消火や救助活動を行う「消防団」のメンバーは、ふだんはどのような生活をしていますか？
- 問13 近所で事件が起きたり、知らない人について行かれそうになって怖い思いをしたときは、何番に電話するのが正しいのでしょうか。
- 問14 道路のわきや上に取りつけられている、絵や文字を使って、ルールや危険を伝えるための板（看板）のような目印を何といいますか。
- 問15 警察が地域を巡回して、犯罪が起きないように見守る活動を何といいますか。
- 問16 夜や暗い道で自転車のライトをつけるのは、前をてらすことのほかに、どのような大切な理由がありますか。
- 問17 子どもが外で不審な人に出会って身の危険を感じたとき、すぐに逃げ込んで助けを求めることができる、地域のみんなで協力して守る仕組みの名前は何といいますか。
- 問18 火が小さなうちに、火が広がるのを防ぐために使う、赤い筒の形をした道具を何といいますか。